

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ①

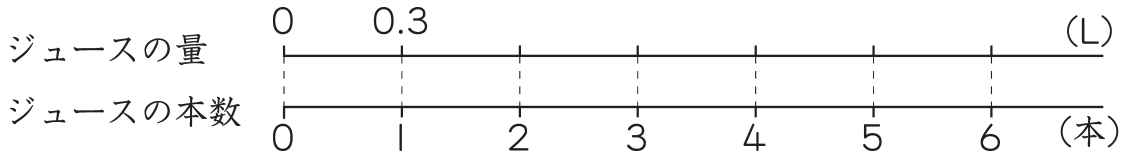
名前

組 番

ねらい 純小数×整数の乗法計算の仕方を考える。

◎ 技 知

- ① 0.3L入りのジュースを6本買いました。
ジュースは、全部で何Lあるでしょうか。



- ① どんな式を書けばよいでしょうか。 <式> $0.3 \times 6 = 1.8$

- ② あやのさんとけんじさんが、計算のしかたを説明しています。
□にあてはまる数を書きましょう。

<あやのさん> 0.1をもとに考える

$$0.3 \text{は} 0.1 \text{の} \boxed{3} \text{こぶんだから、} 0.3 \times 6 = 0.1 \times \boxed{3} \times \boxed{6}$$

$$= 0.1 \times \boxed{18}$$

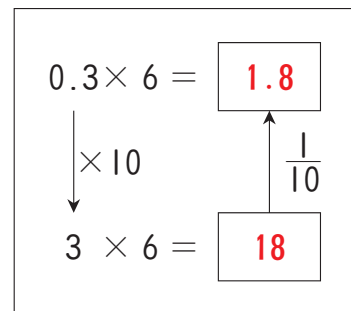
$$0.1 \text{の} \boxed{18} \text{こぶんだから、答えは} \boxed{1.8}$$

<けんじさん> かけられる数を10倍して考える

$$0.3 \times 6 \text{の} 0.3 \text{を} \boxed{10} \text{倍すると}$$

$$3 \times 6 \text{になるので、その答えを} \frac{\boxed{1}}{\boxed{10}} \text{すると}$$

$$\text{答えは} \boxed{1.8} \text{になります。}$$



- ② 次の計算を、かけられる数を10倍にして考えましょう。
□にあてはまる数を書きましょう。

① $0.4 \times 6 = \boxed{2.4}$

$$\downarrow \times 10$$

$$\boxed{4} \times 6 = \boxed{24}$$

$$\uparrow \frac{1}{10}$$

② $0.7 \times 8 = \boxed{5.6}$

$$\downarrow \times 10$$

$$\boxed{7} \times 8 = \boxed{56}$$

$$\uparrow \frac{1}{10}$$

110

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ㉔

名前

組 番

ねらい

小数×整数の乗法計算の仕方を考え、筆算ができる。

④⑤知

① 2.7×8 の計算のしかたを考えましょう。

〈0.1をもとにして〉

$$2.7 \times 8$$

↓

0.1が($\boxed{27} \times \boxed{8}$)こ分

$$2.7 \times 8 = \boxed{21.6}$$

〈かけられる数を10倍にして〉

$$2.7 \times 8 = \boxed{21.6}$$

↓ 10倍

$$\boxed{27} \times 8 = \boxed{216}$$

↑

1
10

◎ 2.7×8 の積は、 27×8 の積を $\frac{\boxed{1}}{\boxed{10}}$ にしたものになる。

$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$	→ 10倍	$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline \boxed{216} \end{array}$	→	$\begin{array}{r} 2.7 \\ \times 8 \\ \hline 21.6 \end{array}$
			→	答えを $\frac{1}{10}$ にする

② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \times 3 = 12.6$

② $2.9 \times 3 = 8.7$

③ $8.4 \times 4 = 33.6$

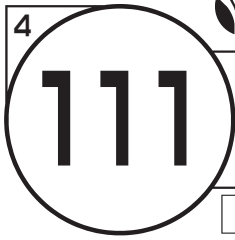
④ $0.9 \times 2 = 1.8$

⑤ $0.5 \times 9 = 4.5$

⑥ $13.6 \times 2 = 27.2$

⑦ $17.8 \times 6 = 106.8$

⑧ $48.7 \times 6 = 292.2$



15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ③

名前

組 番

ねらい 被乗数が1/100の位までの小数の場合の乗法計算の仕方を考える。 (考) (技) (知)

① 1 mの重さが1.26 kgの鉄のぼうがあります。
この鉄のぼう 8 mの重さは何 kg でしょうか。

① どんな式になりますか。 <式> $1.26 \times 8 = 10.08$

② たかしさんとゆらんさんが計算のしかたを考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

<たかしさん>
0.01をもとにして考える

$$1.26 \times 8$$

↓

$$0.01 \times (\boxed{126} \times \boxed{8})$$

<ゆらんさん>
かけられる数を100倍して考える

$$1.26 \times 8 = \boxed{10.08}$$

↓ 100倍

$$126 \times 8 = \boxed{1008}$$

1

100

③ 筆算のしかたを考えましょう。

1.26×8 を 128×8 と考えて
計算をしました。積の小数点は、どこに
うてばよいでしょうか。

右の筆算の積に小数点をうちましょう。

$$\begin{array}{r} 1.26 \\ \times \quad 8 \\ \hline 10.08 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $1.38 \times 6 = 8.28$

② $4.79 \times 8 = 38.32$

③ $0.87 \times 7 = 6.09$

④ $3.04 \times 64 = 194.56$

⑤ $7.41 \times 27 = 200.07$

⑥ $0.86 \times 58 = 49.88$

112

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ④

名前

組 番

ねらい

積の末位が0になる場合の乗法計算と、被乗数が1/1000の位までの小数の乗法計算ができる。 (考) (技) 知

- ① 1.24×5 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 1.24 \\ \times \quad 5 \\ \hline 6.20 \end{array}$$

- ① 右の筆算の積の6.20と 6.2 は
同じ大きさなので、一の位の0をけす。

- ② 0.25×3 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 0.25 \\ \times \quad 3 \\ \hline 0.75 \end{array}$$

- ① 右の筆算は積の75と 0 を
つけたして、答えを0.75とします。

- ③ 0.326×24 の計算のしかたを説明します。
□にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 0.326 \\ \times \quad 24 \\ \hline 1304 \\ 652 \\ \hline 7.824 \end{array}$$

- ① 右の筆算は、小数点がないものとして、
 326×24 の計算をします。
そして、積の7824を 1000 で
わって小数点をうちます。

- ④ 次の計算をしましょう。

① $0.48 \times 5 = 2.4$

② $3.75 \times 4 = 15$

③ $0.14 \times 3 = 0.42$

④ $0.25 \times 2 = 0.5$

⑤ $0.034 \times 5 = 0.17$

⑥ $1.875 \times 24 = 45$

113

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑤

名前

組 番

ねらい 小数÷整数の計算の仕方を考える。

⑤ 技知

① 次の①、②、③の計算のしかたを考えましょう。

□にあてはまる数を書きましょう。

① $1.8 \div 6$

<0.1をもとにして>

$1.8 \cdots \cdots 0.1$ が 18 こ

$1.8 \div 6 \cdots 0.1$ が 18 \div 6 こ

$1.8 \div 6 =$ 0.3

<わられる数を10倍して>

$1.8 \div 6 =$ 0.3

↓ 10倍

$18 \div 6 =$ 3

↑ $\frac{1}{10}$

② $6.4 \div 2$

<0.1をもとにして>

$6.4 \cdots \cdots 0.1$ が 64 こ

$6.4 \div 2 \cdots 0.1$ が 64 \div 2 こ

$6.4 \div 2 =$ 3.2

<わられる数を10倍して>

$6.4 \div 2 =$ 3.2

↓ 10倍

$64 \div 2 =$ 32

↑ $\frac{1}{10}$

③ $4.8 \div 6$

<0.1をもとにして>

4.8 は 0.1 が 48 こ

$4.8 \div 6$ は 0.1 が 48 \div 6 こ

$4.8 \div 6 =$ 0.8

<わられる数を10倍して>

$4.8 \div 6 =$ 0.8

↓ 10倍

$48 \div 6 =$ 8

↑ 1
10

114

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑥

名前

組 番

ねらい 小数÷整数の計算の仕方を考え、筆算ができる。

⑧⑨知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましょう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \square \\ 5 \overline{) 8 . 5} \\ \underline{5} \\ \square \square \\ \underline{\square \square} \\ 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square \square . \square \\ 7 \overline{) 9 4 . 5} \\ \underline{7} \\ \square \square \\ \underline{\square \square} \\ \square \square \\ \underline{\square \square} \\ \square \square \\ \underline{\square \square} \\ 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \\ 4 \overline{) 1 2 . 8} \\ \underline{1 2} \\ \square \square \\ \underline{\square \square} \\ 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① $8.4 \div 3 = 2.8$

② $9.2 \div 4 = 2.3$

③ $9.6 \div 6 = 1.6$

④ $42.5 \div 5 = 8.5$

⑤ $11.9 \div 7 = 1.7$

⑥ $12.6 \div 3 = 4.2$

115

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑦

名前

組 番

ねらい

商が1より小さくなる場合や除数が2位数の場合の除法計算ができる。

⑧ ⑨ 知

- ① 次の①、②、③の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

①

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \square \\ 9 \overline{) 5 . 4} \\ \underline{\square \square} \\ 0 \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \square \\ 3 \overline{) 0 . 9} \\ \underline{\square \square} \\ 0 \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \square \\ 21 \overline{) 18 . 9} \\ \underline{\square \square \square} \\ 0 \end{array}$$

- ② 次の計算をしましょう。

① $6.4 \div 8 = 0.8$

② $4.2 \div 7 = 0.6$

③ $68.8 \div 16 = 4.3$

④ $81.6 \div 24 = 3.4$

⑤ $7.8 \div 13 = 0.6$

⑥ $24.3 \div 27 = 0.9$

⑦ $121.6 \div 38 = 3.2$

⑧ $179.8 \div 29 = 6.2$

116

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑧

名前

組 番

ねらい

被除数が1/100の位、1/1000の位までの除法計算ができる。

⑧ 考 技 知

① 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

2	.	4	4
3)	7	.
		3	2
		6	
		1	3
		1	2
			1
			2
			1
			2
		0	

② 次の計算をしましょう。

① $0.63 \div 9$
 $= 0.07$

② $60.25 \div 5$
 $= 12.05$

③ $71.91 \div 17$
 $= 4.23$

④ $57.04 \div 23$
 $= 2.48$

③ 右の筆算の□にあてはまる数を書きましょう。
また、商には小数点もうちましよう。

0	.	0	6	8
48)	3	.	2
		6	4	
		2	8	8
			3	8
			4	4
			3	8
			4	4
		0		

④ 次の計算をしましょう。

① $7.684 \div 4$
 $= 1.921$

② $0.114 \div 6$
 $= 0.019$

③ $3.379 \div 31$
 $= 0.109$

④ $0.072 \div 12$
 $= 0.006$

117

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑨

名前

組 番

ねらい わり進む除法計算の仕方を考える。

⑨ 考 技 知

① 次の計算の□にあてはまる数を書きましょう。

また、商には小数点もうちましょう。

① 4.2を4.20とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square . \square \square \\ 5 \overline{) 4.2} \\ \underline{4 \quad 0} \\ \square \square \\ \underline{\square \quad 0} \\ \square \quad 0 \\ \underline{\square \quad 0} \\ 0 \end{array}$$

② 6.3を6.30とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square . \square \square \\ 6 \overline{) 6.3} \\ \underline{6} \\ \square \square \\ \underline{\square \quad 0} \\ \square \quad 0 \\ \underline{\square \quad 0} \\ 0 \end{array}$$

③ 6を6.00とみて
計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} \square . \square \square \\ 25 \overline{) 6} \\ \underline{5 \quad 0} \\ \square \square \\ \underline{\square \quad 0} \\ \square \quad 0 \\ \underline{\square \quad 0} \\ 0 \end{array}$$

② 次の計算をしましょう。

① $4.2 \div 4 = 1.05$

② $64.2 \div 40 = 1.605$

③ $49.78 \div 76 = 0.655$

④ $0.18 \div 50 = 0.0036$

⑤ $3 \div 24 = 0.125$

⑥ $1 \div 16 = 0.0625$

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑩

名前

組 番

ねらい

わり進む除法で、商を四捨五入して概数で表す場合の計算の仕方を考える。

④ ⑤ 知

① 5 ÷ 3 の計算について、次の問いに答えましょう。

① 5 ÷ 3 の計算を筆算でしましょう。 →

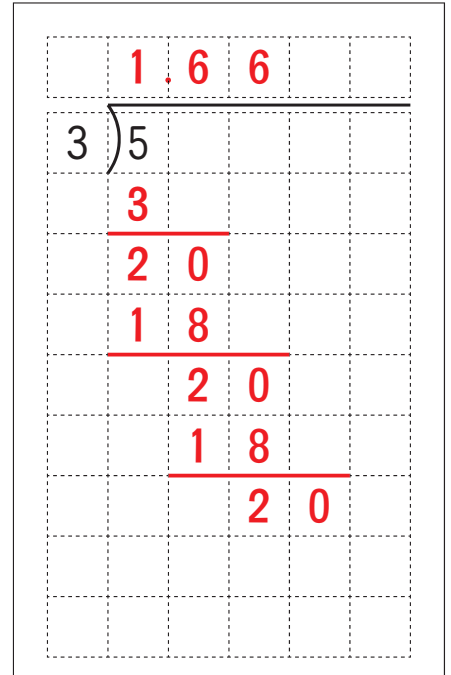
② 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までの
がい数で求めましょう。

・何の位で四捨五入すればよいでしょうか。

($\frac{1}{100}$) の位で四捨五入する。

・答え

(約 1.7)



② 2.5L のジュースを 7 人で等分します。

1 人分は約何 L になるでしょうか。

商は四捨五入して、 $\frac{1}{100}$ の位までの
がい数で求めましょう。

$2.5 \div 7 = 0.357 \dots$

答え (約 0.36)

③ 商は四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めましょう。

答えには約をつけようね。

① $7 \div 6 = 1.16 \dots$

(約 1.2)

② $8 \div 7 = 1.14 \dots$

(約 1.1)

③ $7.8 \div 9 = 0.86 \dots$

(約 0.9)

④ $14 \div 32 = 0.43 \dots$

(約 0.4)

⑤ $34 \div 29 = 1.17 \dots$

(約 1.2)

⑥ $30.5 \div 17 = 1.79 \dots$

(約 1.8)

119

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑪

名前

組 番

ねらい 小数÷整数の除法のあまりの大きさについて考える。

④ 考 技 知

① 長さが23.5cmのテープがあります。

このテープを4cmずつ切ると、4cmのテープは何本できて、何cmあまるでしょうか。

① どんな式になるでしょうか。 <式> $23.5 \div 4$

② テープの本数は、整数になるでしょうか。それとも小数になるでしょうか。

(**整数**) になる。

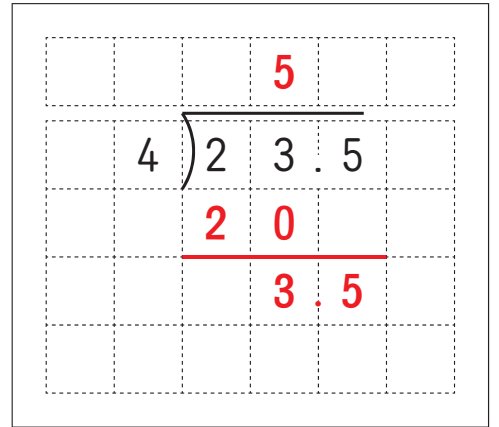
③ 商は何の位くらいまで求めればよいでしょうか。

(**—**) の位。

④ 筆算をしましょう。 →

⑤ あまりはいくつでしょうか。

(**3.5**)



⑥ 答えを書きましょう。

(**5**) 本できて、(**3.5**) cmあまる。

② 商は $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりも求めましょう。

① $14.2 \div 6$

(**2.3 残り 0.4**)

② $10.7 \div 7$

(**1.5 残り 0.2**)

③ $23.6 \div 9$

(**2.6 残り 0.2**)

④ $27.3 \div 15$

(**1.8 残り 0.3**)

⑤ $12.1 \div 17$

(**0.7 残り 0.2**)

⑥ $17.7 \div 21$

(**0.8 残り 0.9**)

120

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑫

名前

組 番

ねらい 何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。

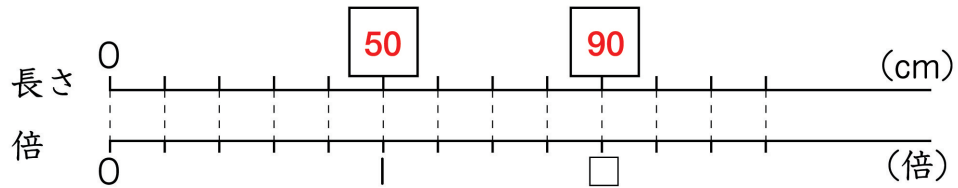
考技 ⑩

① 赤色のテープと白色のテープがあります。

赤色のテープの長さは90cm、白色のテープの長さは50cmです。

赤色のテープの長さは、白色のテープの長さの何倍でしょうか。

① にあてはまる数を書いて、場面を数直線に表しましょう。



② 90cmと50cmのどちらを1とみればよいでしょうか。 答え (50) cm

③ 式に表して、答えを求めましょう。

<式> $90 \div 50 = 1.8$

答え 1.8倍

④ 白いテープの長さを1とみると、赤いテープの長さは何倍にあたるでしょうか。

(1.8倍) にあたる。

② 白のテープが6m、赤のテープが9m、青のテープが12mあります。

① 青のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

<式> $12 \div 6 = 2$

答え 2倍

② 赤のテープの長さは、青のテープの長さの何倍でしょうか。

<式> $9 \div 12 = 0.75$

答え 0.75倍

③ 赤のテープの長さは、白のテープの長さの何倍でしょうか。

<式> $9 \div 6 = 1.5$

答え 1.5倍

121

15. 小数と整数の
かけ算、わり算 ⑬

名前

組 番

ねらい

小数×整数、小数÷整数についての学習を活用して問題を解決することができる。

⑬ 技知

- ① 学校の中からかけ算やわり算が使える場面を見つけて、問題をつくります。次のけんじさんと、ゆみさんが見つけた場面を使って問題をつくりましょう。また、その問題の解答（式と答え）も書きましょう。

(けんじ)

学校の階だんの1だん分の高さは15.8cmで、1階から2階までと、2階から3階までのだん数はそれぞれ27だんです。

◆かけ算の問題をつくりましょう。

(例)

- ・1階のゆかから3階までのゆかの高さは何cmでしょうか。また、何mでしょうか。

〈式〉 $15.8 \times (27 + 27) = 853.2$
 $853.2 = 8.532\text{m}$

答え 約853.2cm、約8.532m

(ゆみ)

学校の教室のゆかのタイルは、1辺が30.3cmの正方形です。教室の横には、このタイルが1列に32まいならんでいます。また、教室の天井には、正方形のパネルが横に22まいならんでいます。

◆わり算の問題をつくりましょう。

(例)

- ・天井のパネルの1辺の長さは何cmでしょうか。

〈式〉 $30.3 \times 32 \div 22 = 44.07\dots$

答え 約44cm

16. 立体 ①

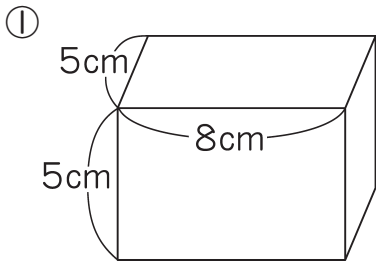
名前

組 番

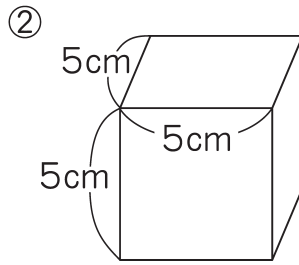
ねらい 直方体、立方体の意味を理解する。

考技 (知)

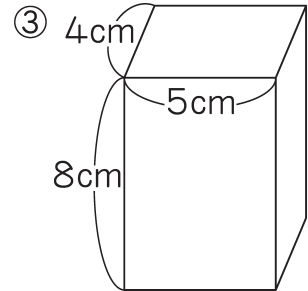
① 次の () の中に立体の名前を書きましょう。



(直方体)

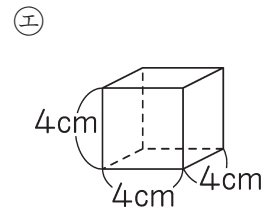
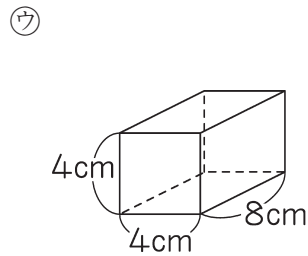
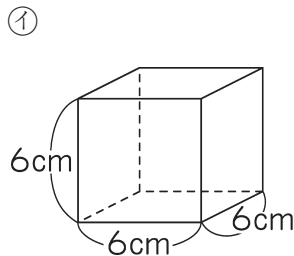
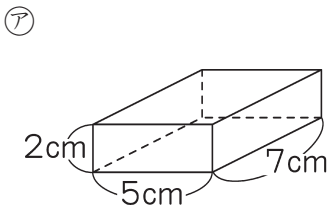


(立方体)



(直方体)

② 次の立体を見て、下の①～④にあてはまる立体の記号を書きましょう。



① 正方形と長方形でかこまれている立体

(ウ)

② 正方形だけにかこまれている立体

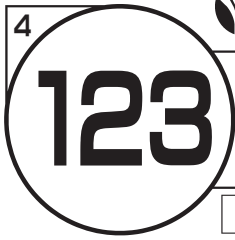
(イ エ)

③ 長方形だけにかこまれている立体

(ア)

④ 立方体はどれでしょうか。

(イ エ)



16. 立体 ②

名前

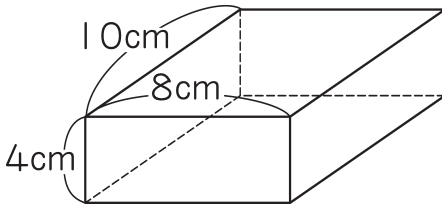
組 番

ねらい 直方体、立方体の構成要素や平面の意味を理解する。

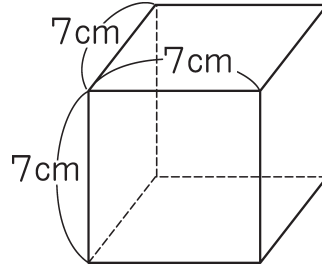
考技(知)

① 下のような直方体や立方体について、下の表のあいているところにあてはまる数を
書きましょう。

直方体



立方体



	直方体	立方体
面	6	6
頂点	8	8
辺	12	12

① 上の直方体には、どんな長さの辺がいくつあるでしょうか。

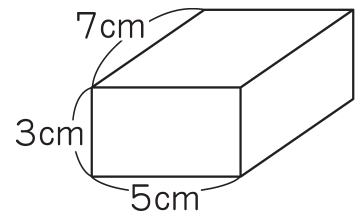
4 cmの辺 (4) 8 cmの辺 (4) 10cmの辺 (4)

② 上の立方体には、どんな面の形がいくつあるでしょうか。

1辺7cmの (正方形) の面が、 (6) つある。

② 右の直方体には、どんな長さの辺が
いくつあるでしょうか。

3 cmの辺が 4 本
5 cmの辺が 4 本
7 cmの辺が 4 本



16. 立体 ③

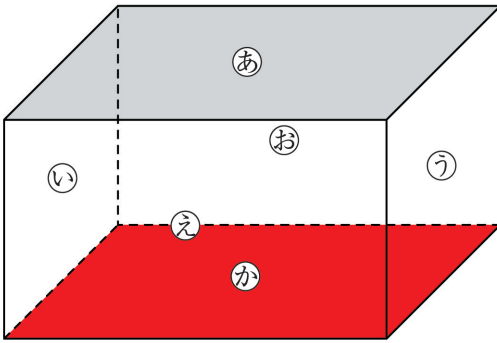
名前

組 番

ねらい 直方体、立方体の面や辺の垂直、平行関係を理解する。

考技 ⑨

① 下の直方体を見て、答えましょう。

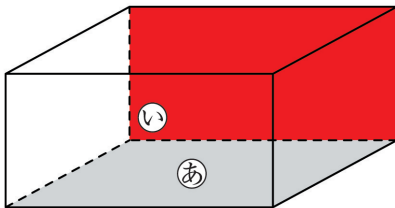


① 上のあの面と平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

② 横のいの面と平行な面はどれでしょうか。

面 (う)

② 下の直方体を見て、答えましょう。



① 下のあの面に垂直すいちよくな面は、いくつあるでしょうか。

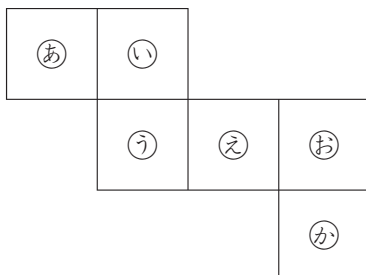
(4つ)

② いの面に平行な面に、えんぴつで色をぬりましょう。

③ 直方体の面のように、平らな面を何というでしょうか。

(平面)

③ 下の展開図を組み立ててできる立方体で、面あと平行になる面はどれでしょうか。



面 (え)

ねらい 直方体、立方体の面と面、面と辺、辺と辺の垂直や平行について ⑧ 技知 調べる。

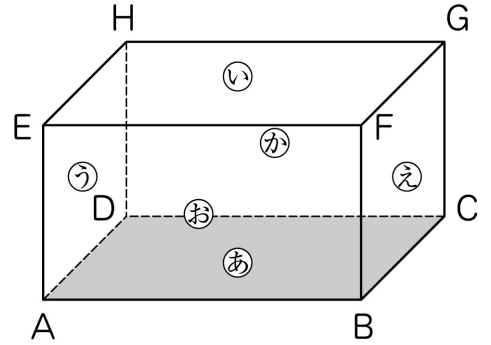
1 右の直方体を見て、答えましょう。

① ②の面と垂直な辺を書きましょう。

(辺AE、辺BF、辺CG、辺DH)
 ※辺EA、辺FB、辺GC、辺HDでもよい。

② 辺EAと垂直な面を書きましょう。

(面②、面③)



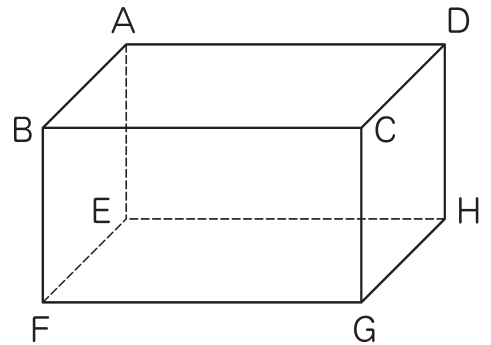
2 右の直方体を見て、答えましょう。

① 辺ABと平行な辺を書きましょう。

(辺EF、辺DC、辺HG)

② 辺GHと垂直な辺を書きましょう。

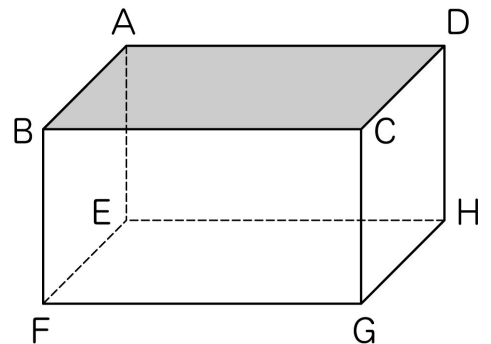
(辺CG、辺DH、辺FG、辺EH)
 ※辺BF、辺AEも正解の旨を解説(4年生以降で学習)



3 右の直方体を見て、答えましょう。

面ABCDと垂直な面は、いくつあるでしょうか。

(4つ)

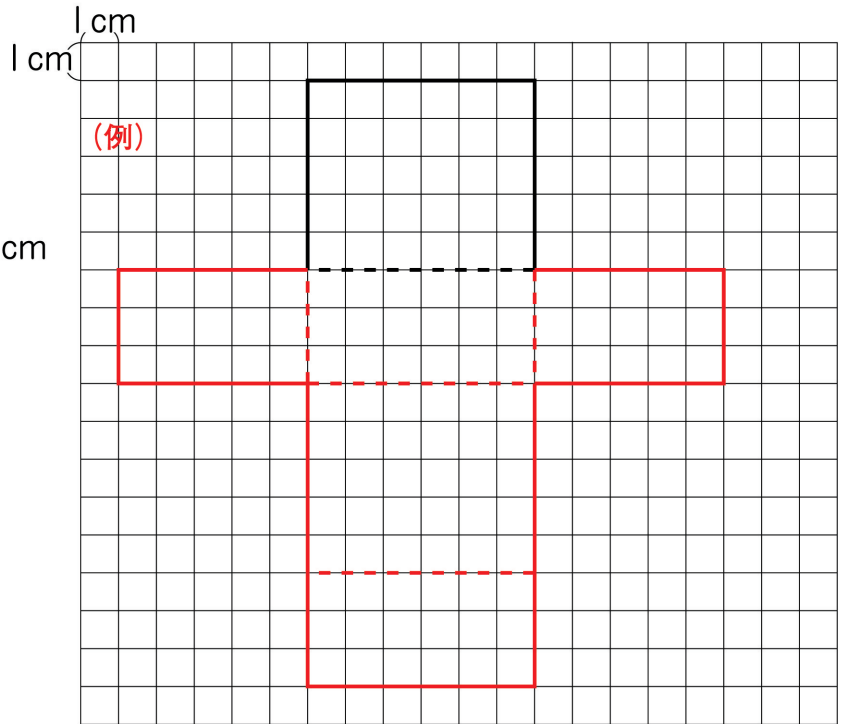
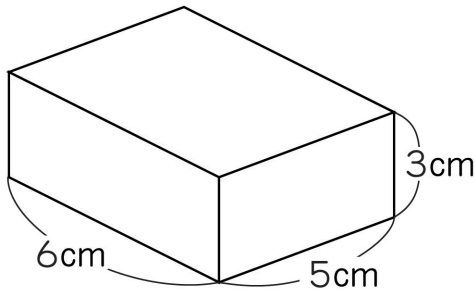


ねらい 展開図の意味を理解し、展開図をかきことができる。

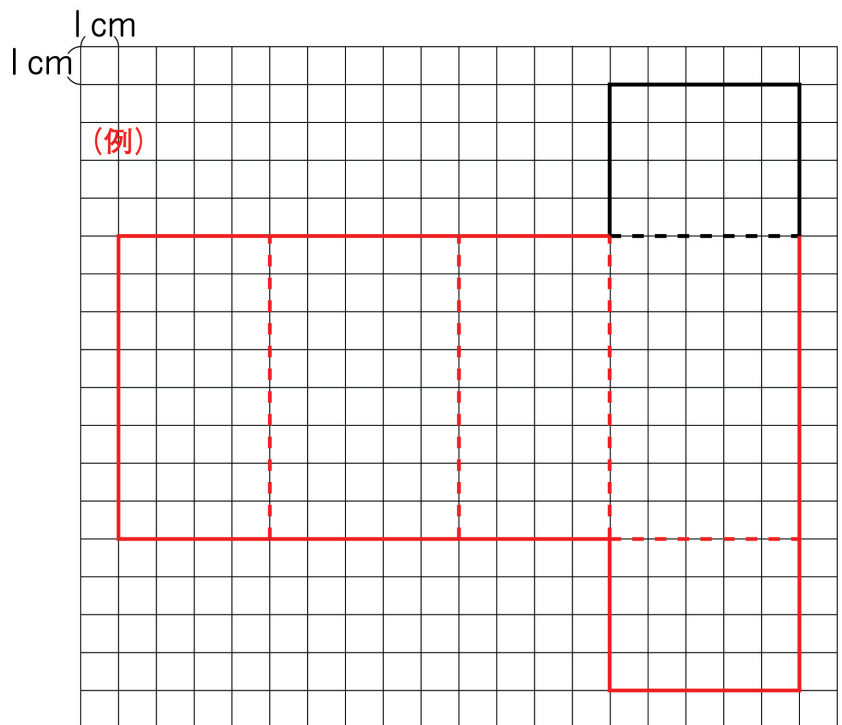
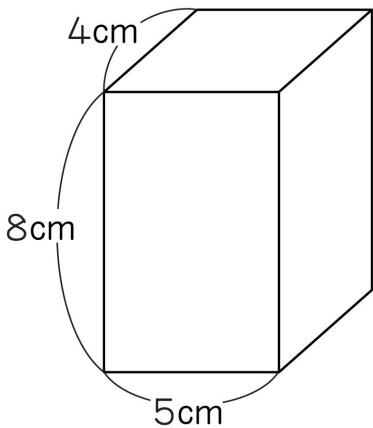
考(技)知

① 次の直方体の展開図をつづけてかきましょう。(1目もりが1cmとします)

①



②



16. 立体 ⑥

名前

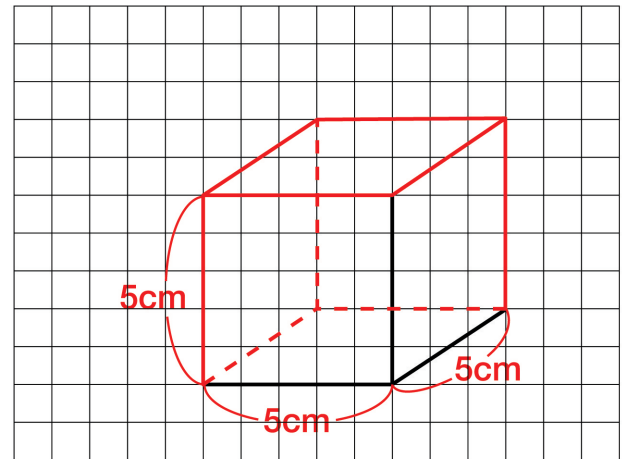
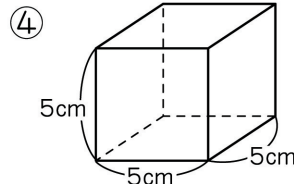
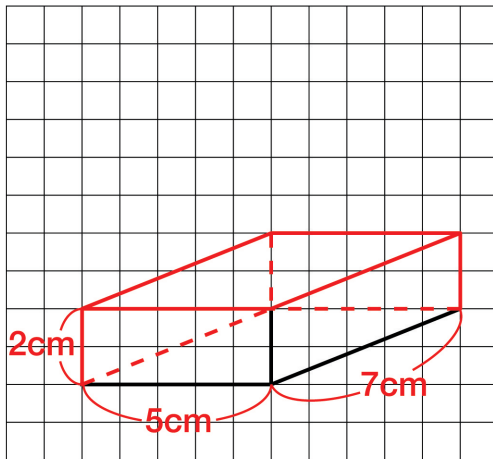
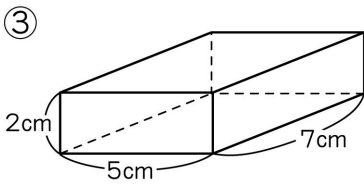
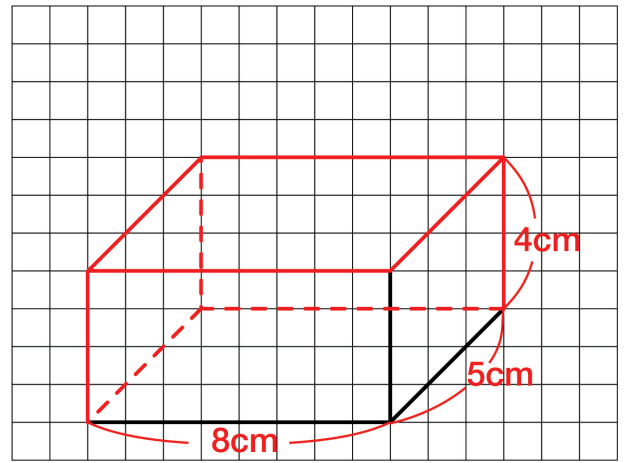
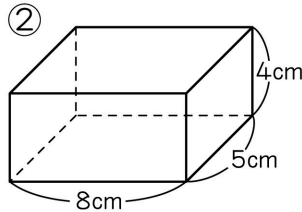
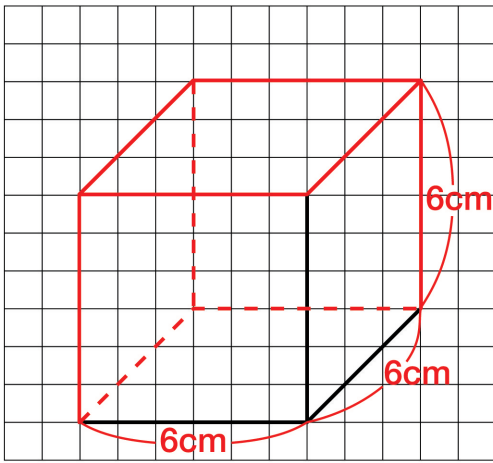
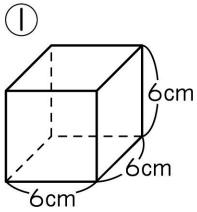
組 番

ねらい

見取り図の意味を理解し、直方体や立方体の見取り図をかきことができる。

考(技)(知)

① 次の立方体や直方体^{みとりず}の見取り図をかきましょう。(1目もりが1cmとします)



16. 立体 ⑦

名前

組 番

ねらい

立方体のいろいろな展開図を考え、面と面のつながりや立体図形と平面図形について理解を深める。

④ 技 ④ 知

① 立方体の展開図のつづきをかいて、いろいろな展開図を完成させましょう。

② 上の展開図以外にあと2つあります。わかったら、かきましょう。

(例) 上の①の展開図にない展開図

16. 立体 ⑧

名前

組 番

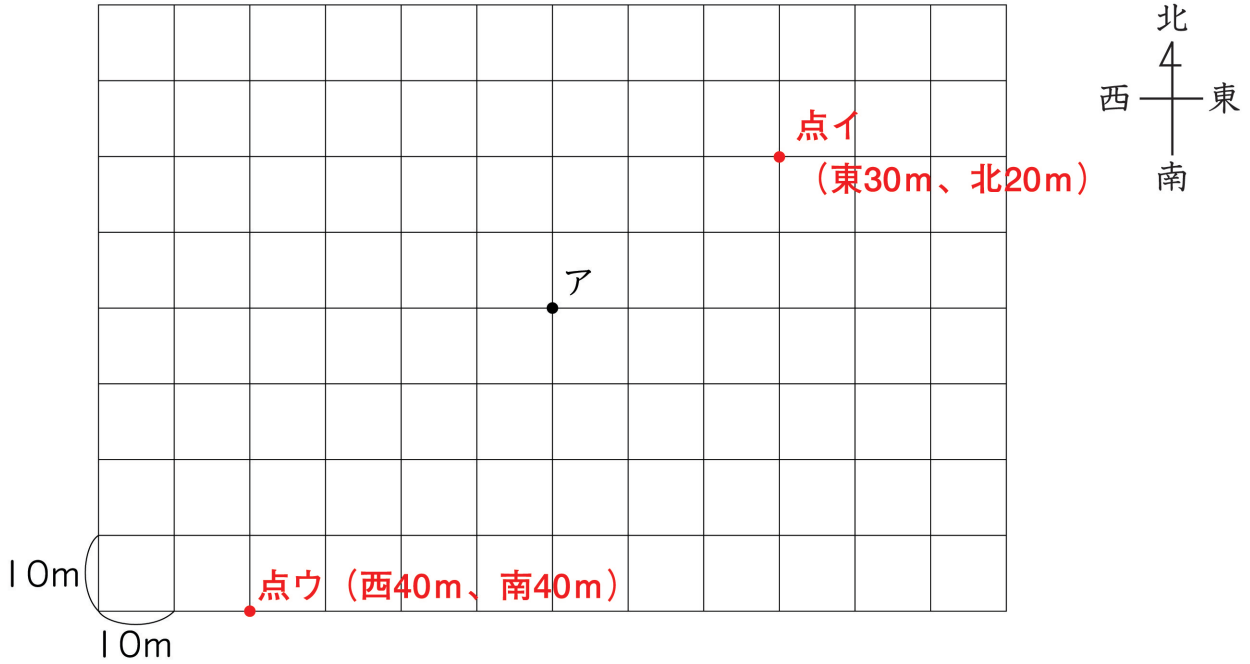
ねらい

平面の上にある点の位置、空間の中にある点の位置の表し方を考え、表すことができる。

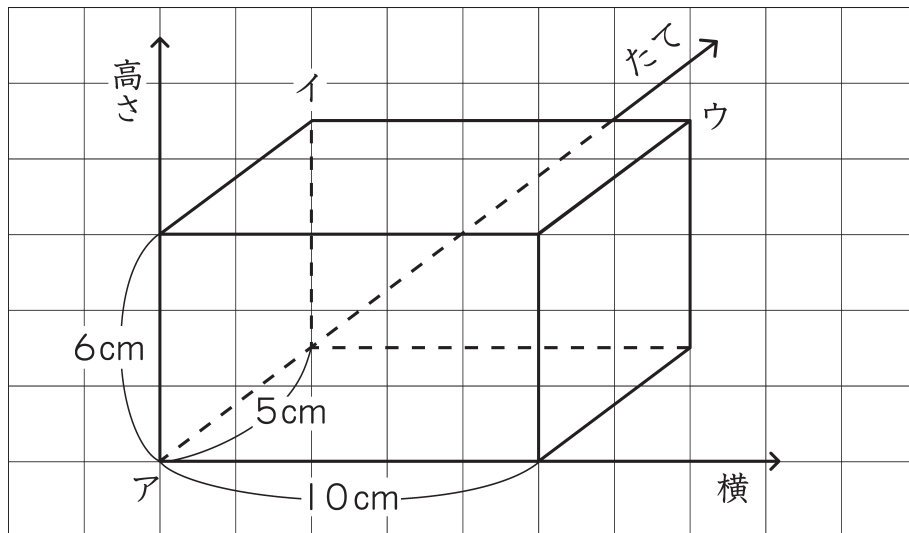
⑧ ⑧ 知

1 下の図に、点アの位置をもとにして、点イ、点ウをかき入れましょう。

点イ (東 30m、北 20m) 点ウ (西 40m、南 40m)



2



※1目もりは1cmです。

上のような直方体で、頂点アをもとにすると、頂点イ、ウの位置はどのように表すことができるでしょうか。

点イ (横 たて 高さ)
 点ウ (横 たて 高さ)

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ①

名前

組 番

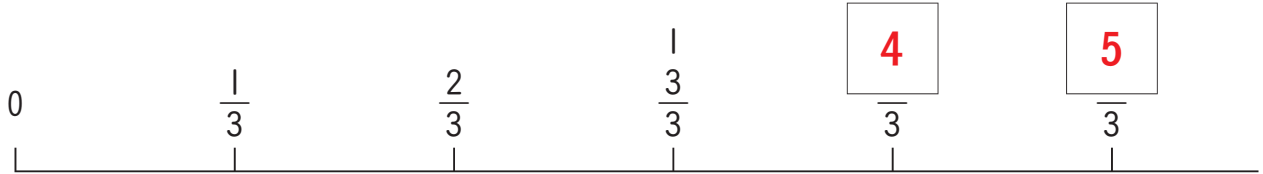
ねらい

1より大きい分数の表し方や、「帯分数」「仮分数」「真分数」の用語を理解する。

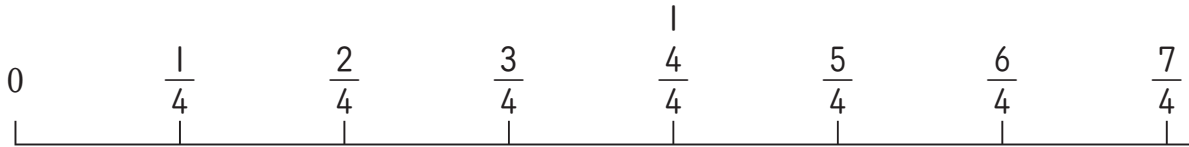
考技(知)

① $\frac{1}{3}$ の4こ分、5こ分の大きさを分数で表しましょう。

① 下の□に、それぞれの分子を書きましょう。



② 下の数直線を見て、答えましょう。



① $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ のいくつ分の大きさの分数でしょうか。

5つ分

② $\frac{5}{4}$ は1とどんな大きさの分数を合わせたのでしょうか。

$\frac{1}{4}$

③ 下の()にあてはまる言葉を書きましょう。

① $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{2}{3}$ 、 $\frac{3}{5}$ のように、分子が分母より小さい分数を(**真分数**)とといいます。

② $\frac{3}{3}$ 、 $\frac{5}{2}$ 、 $\frac{6}{4}$ のように、分子が分母と等しいか、分子が分母より大きい分数を(**仮分数**)とといいます。

③ $1\frac{3}{4}$ 、 $2\frac{2}{5}$ のように、整数と^{しんぶんすう}真分数の和で表されている分数を(**帯分数**)と
いいます。

④ 次の分数を^{かぶんすう}真分数、^{たいぶんすう}仮分数、帯分数に分けて、記号で答えましょう。

ア $3\frac{12}{14}$ ① $\frac{11}{7}$ ウ $\frac{3}{3}$ エ $\frac{5}{9}$ オ $\frac{9}{12}$ カ $\frac{13}{8}$ キ $2\frac{6}{7}$ ク $\frac{3}{25}$ ケ $11\frac{9}{10}$ コ $\frac{21}{16}$

真分数 (**エ、オ、ク**) 仮分数 (**①、ウ、カ、コ**) 帯分数 (**ア、キ、ケ**)



131

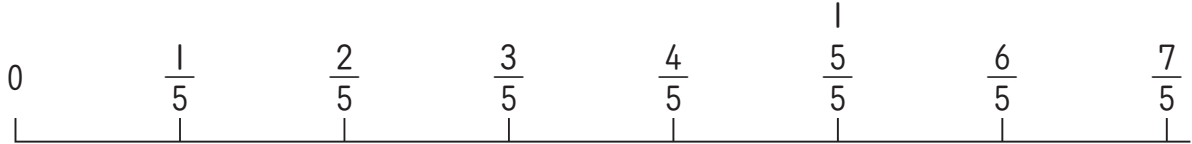
17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ②

名前

組 番

ねらい 「帯分数」「仮分数」「真分数」の大きさについて理解を深める。 考技 ③

① $\frac{7}{5}$ について、□にあてはまる数を書きましょう。



- ① $\frac{7}{5}$ は $\frac{1}{5}$ を 7 こ集めた数です。
- ② $\frac{7}{5}$ は1と $\frac{1}{5}$ を 2 こ集めた数です。
- ③ $\frac{7}{5}$ は1より $\frac{2}{5}$ 大きい数です。
- ④ $\frac{7}{5}$ は1と $\frac{2}{5}$ を合わせた数です。

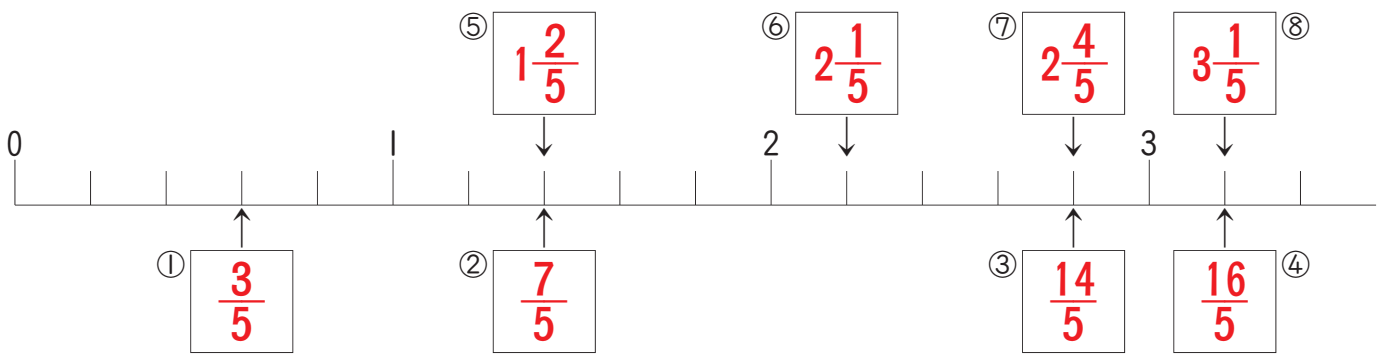
② 次の□にあてはまる数を書きましょう。

- ① 3 Lと $\frac{1}{4}$ Lの和は $3\frac{1}{4}$ Lです。
- ② 2 mと $\frac{2}{3}$ mの和は $2\frac{2}{3}$ mです。
- ③ $\frac{1}{7}$ が6 こ集まった分数は $\frac{6}{7}$ です。
- ④ $\frac{1}{5}$ が5 こ集まった分数は $\frac{5}{5}$ です。
- ⑤ 2と $\frac{1}{8}$ の和は $2\frac{1}{8}$ です。
- ⑥ 6と $\frac{5}{6}$ の和は $6\frac{5}{6}$ です。

③ () の中の数を、小さい順に不等号ふとうごうを使って書きましょう。

- ① ($3\frac{1}{7}$ $\frac{23}{7}$ $\frac{20}{7}$) $\frac{20}{7} < 3\frac{1}{7} < \frac{23}{7}$
- ② ($\frac{34}{6}$ $5\frac{5}{6}$ 6) $\frac{34}{6} < 5\frac{5}{6} < 6$

④ ①から④には真分数しんぶんすうか仮分数かぶんすう、⑤から⑧には帯分数たいぶんすうを書きましょう。





132

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ③

名前

組 番

ねらい

帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数で表すことができ、
仮分数と帯分数の大きさの比較の仕方を理解する。

考(技)知

① 次の帯分数を仮分数たいぶんすうになおしましょう。

① $1\frac{1}{3} = \frac{4}{3}$

② $2\frac{1}{4} = \frac{9}{4}$

③ $1\frac{3}{10} = \frac{13}{10}$

④ $3\frac{2}{7} = \frac{23}{7}$

⑤ $3\frac{4}{5} = \frac{19}{5}$

⑥ $8\frac{1}{2} = \frac{17}{2}$

⑦ $2\frac{5}{6} = \frac{17}{6}$

⑧ $4\frac{3}{10} = \frac{43}{10}$

⑨ $4\frac{7}{8} = \frac{39}{8}$

② 次の仮分数を帯分数か整数もとで表しましょう。

① $\frac{30}{6} = 5$

② $\frac{29}{7} = 4\frac{1}{7}$

③ $\frac{31}{5} = 6\frac{1}{5}$

④ $\frac{49}{8} = 6\frac{1}{8}$

⑤ $\frac{26}{3} = 8\frac{2}{3}$

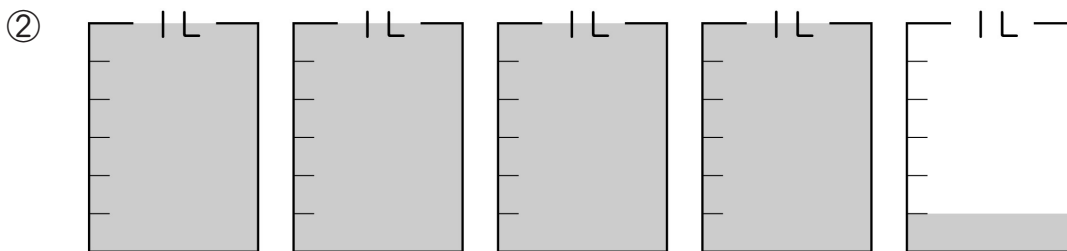
⑥ $\frac{100}{10} = 10$

③ 下の図の長さやかさを仮分数、帯分数で求めましょう。



仮分数 $\frac{13}{5}$ m

帯分数 $2\frac{3}{5}$ m



仮分数 $\frac{25}{6}$ L

帯分数 $4\frac{1}{6}$ L



133

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ④

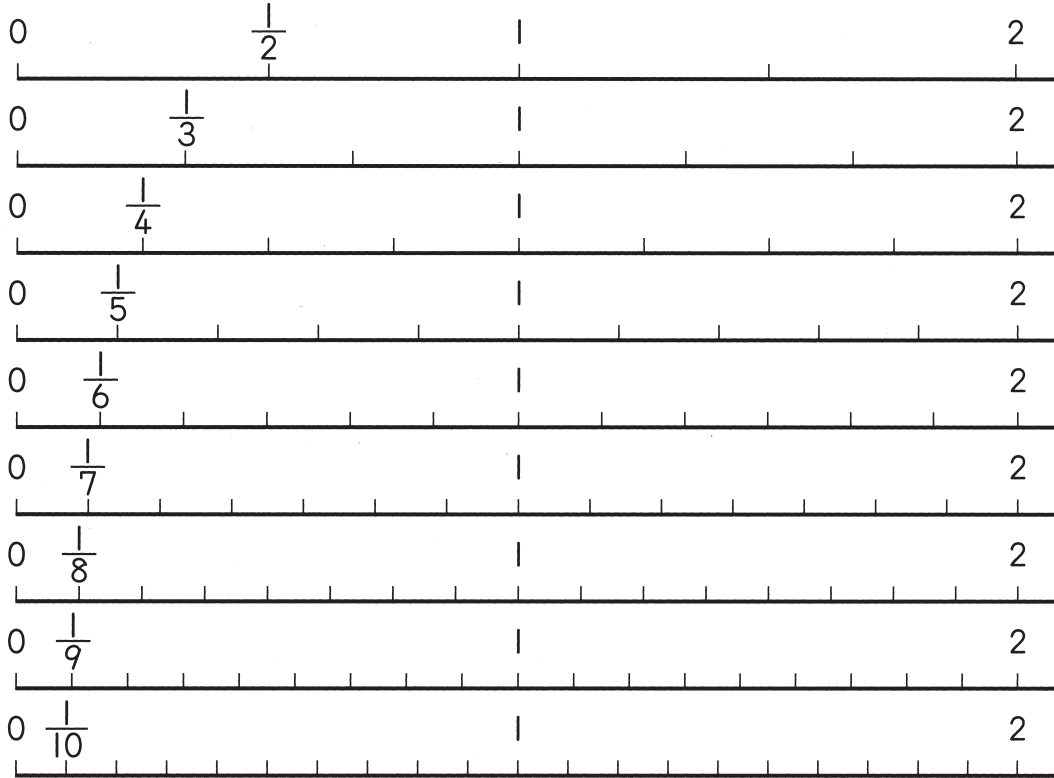
名前

組 番

ねらい 大きさの等しい分数があることを理解する。

考技 知

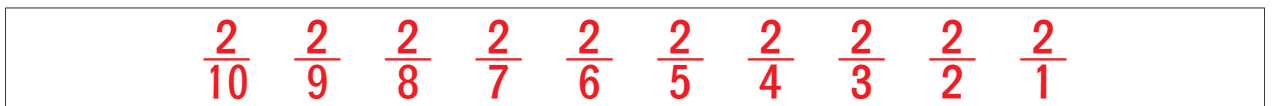
① 下の数直線を見て、□にあてはまる数を書きましょう。



① $\frac{1}{2} = \frac{2}{4} = \frac{3}{6} = \frac{4}{8} = \frac{5}{10}$

② $\frac{1}{3} = \frac{2}{6} = \frac{3}{9}$

③ 上の数直線で0から2の間にある分子が2の分数を小さい方から順に書きましょう。



② 上の数直線を使って () の中の数を大きい順に並べ、^{ふとうごう}不等号を使って書きましょう。

① ($\frac{1}{8}$ $\frac{1}{3}$ $\frac{1}{6}$ $\frac{1}{4}$)

$\frac{1}{3} > \frac{1}{4} > \frac{1}{6} > \frac{1}{8}$

② ($\frac{5}{10}$ $\frac{5}{2}$ $\frac{5}{7}$ $\frac{5}{5}$)

$\frac{5}{2} > \frac{5}{5} > \frac{5}{7} > \frac{5}{10}$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑤

名前

組 番

ねらい 同分母の真分数、仮分数の加法計算の仕方を考える。

⑤ 技知

① $\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{7}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が 7 こ分 $\frac{4}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が 4 こ分

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が (7 + 4) こ分になるから、

$\frac{7}{6} + \frac{4}{6} = \frac{11}{6}$ たいぶんすう 帯分数になおすと、

= $1\frac{5}{6}$

② $\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が 9 こ分 $\frac{11}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が 11 こ分

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が (9 + 11) こ分になるから、

$\frac{9}{8} + \frac{11}{8} = \frac{20}{8}$ 帯分数になおすと、

= $2\frac{4}{8}$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑥

名前

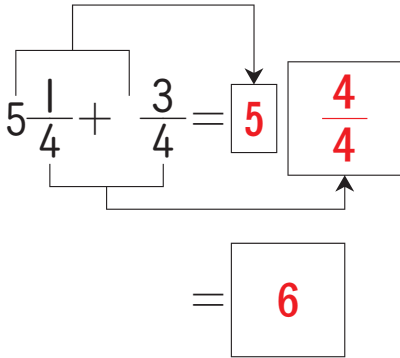
組 番

ねらい 同分母の帯分数の加法計算の仕方を考える。

⑧ 技知

① $5\frac{1}{4} + \frac{3}{4}$ の計算のしかたを考えましょう。

＜整数と真分数に分けて考える＞



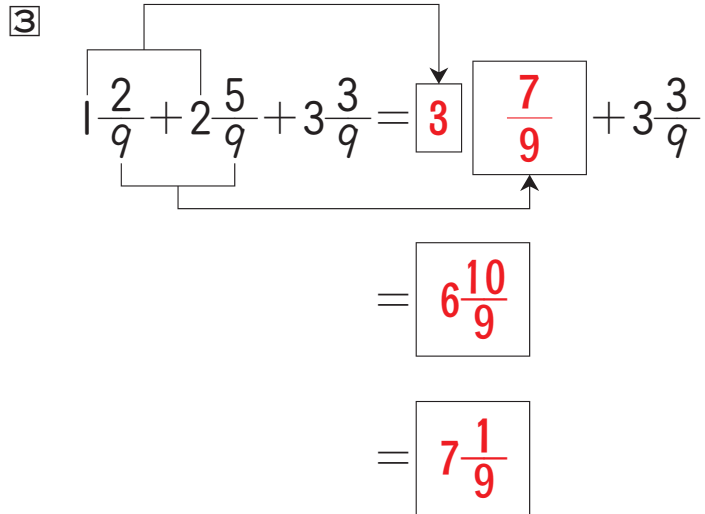
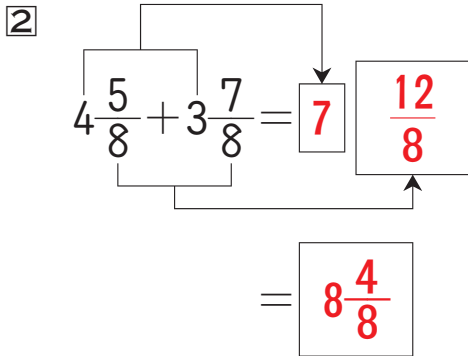
① 整数どうしのたし算をする。

$$5 + 0 = 5$$

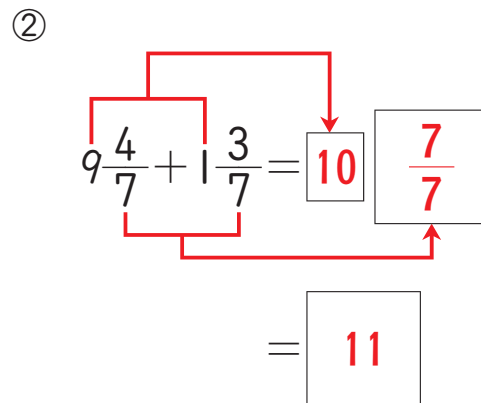
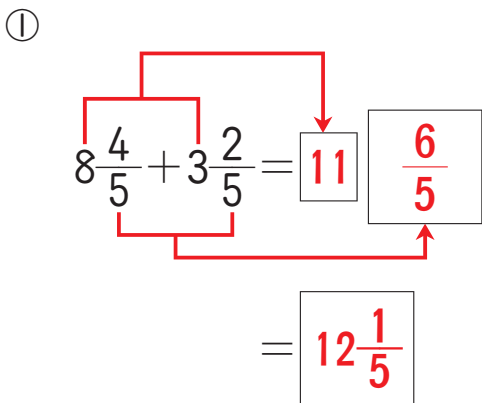
② 分数どうしのたし算をする。

$$\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4}$$

③ たいぶんすう 帯分数または整数になおす。



④ どのように計算したのかがわかるように、①～③のような矢印を書いて計算しましょう。



17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑦

名前

組 番

ねらい 同分母の真分数、仮分数の減法計算の仕方を考える。

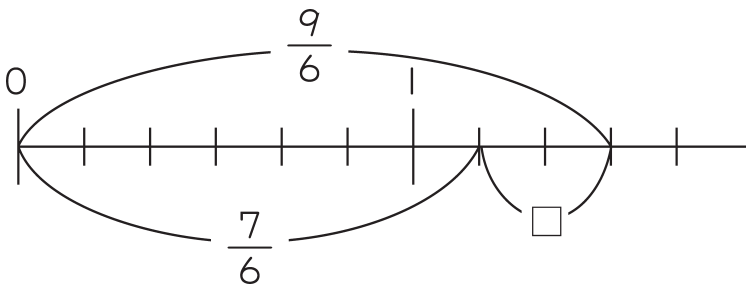
⑧ 技 知

① $\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{9}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が 9 こ分 $\frac{7}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が 7 こ分

$\frac{9}{6} - \frac{7}{6}$ は $\frac{1}{6}$ が (9 - 7) こ分になるから、

$$\frac{9}{6} - \frac{7}{6} = \frac{2}{6}$$



□にあてはまる数は

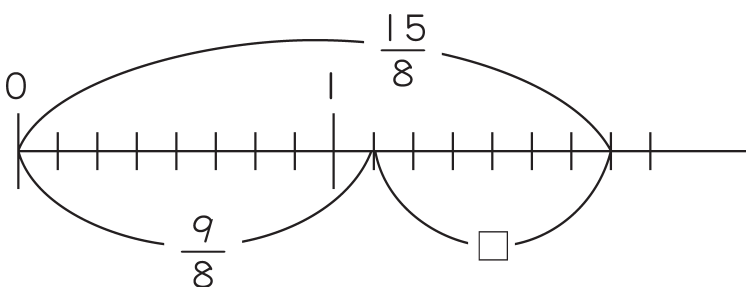
$$\frac{2}{6}$$

② $\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ の計算のしかたを考えましょう。

$\frac{15}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が 15 こ分 $\frac{9}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が 9 こ分

$\frac{15}{8} - \frac{9}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が (15 - 9) こ分になるから、

$$\frac{15}{8} - \frac{9}{8} = \frac{6}{8}$$



□にあてはまる数は

$$\frac{6}{8}$$

137

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑧

名前

組 番

ねらい 同分母の帯分数の減法計算の仕方を考える。

⑧ 考 技 知

① $3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10}$ の計算のしかたを考えましょう。

〈整数と仮分数に分けて考える〉

$$3\frac{1}{10} - 2\frac{4}{10} = 2\frac{11}{10} - 2\frac{4}{10} = \frac{7}{10}$$

② $7 - 3\frac{4}{9}$ の計算のしかたを考えましょう。

$$7 - 3\frac{4}{9} = 6\frac{9}{9} - 3\frac{4}{9} = 3\frac{5}{9}$$

③ 上のやり方で、計算しましょう。

① $4\frac{3}{8} - 2\frac{5}{8} = 3\frac{11}{8} - 2\frac{5}{8} = 1\frac{6}{8}$

② $3 - 1\frac{1}{13} = 2\frac{13}{13} - 1\frac{1}{13} = 1\frac{12}{13}$

③ $3\frac{7}{12} - 2\frac{10}{12} = 2\frac{19}{12} - 2\frac{10}{12} = \frac{9}{12}$

④ $10 - 4\frac{5}{6} = 9\frac{6}{6} - 4\frac{5}{6} = 5\frac{1}{6}$

17. 分数の大きさと
たし算、ひき算 ⑨

名前

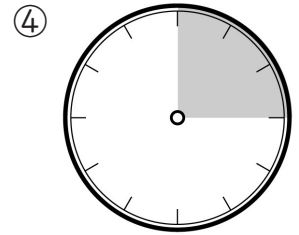
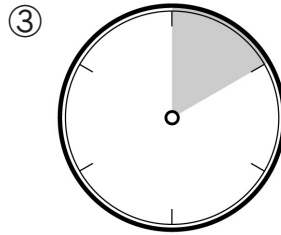
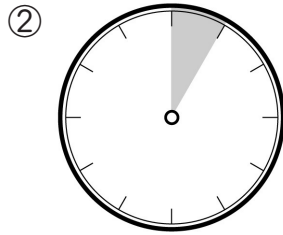
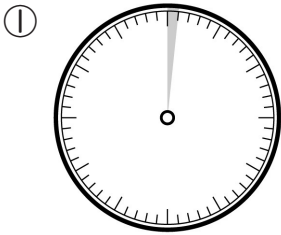
組 番

ねらい

時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数についての理解を深める。

考技 ⑩

1 □にあてはまる数を書きましょう。



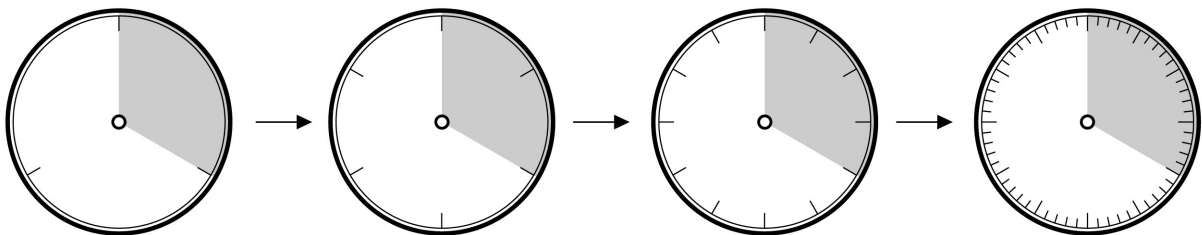
① 1分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間

② 5分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間

③ 10分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間

④ 15分は1時間を 等分したうちの1つ分だから 時間

2 時間を分数に表す方法を使って、 $\frac{1}{3} + \frac{1}{6}$ の計算のしかたを考えましょう。

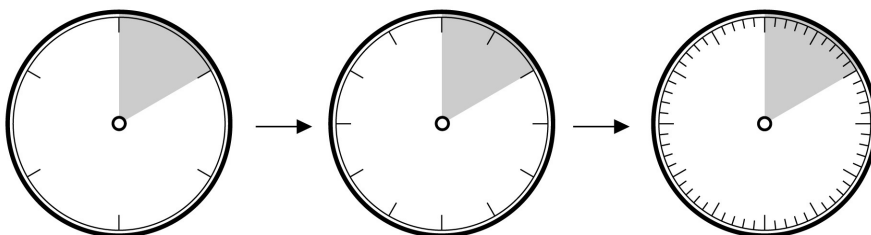


20分きざみで $\frac{1}{3}$ 時間

10分きざみで 時間

5分きざみで 時間

1分きざみで 時間



10分きざみで $\frac{1}{6}$ 時間

5分きざみで 時間

1分きざみで 時間

$$\begin{aligned} \frac{1}{3} + \frac{1}{6} &= \frac{2}{6} + \frac{1}{6} \\ &= \frac{4}{12} + \frac{2}{12} \\ &= \frac{20}{60} + \frac{10}{60} \end{aligned}$$